首都直下地震 震度予測図

想定地震：東京湾北部地震(M7.3)

震度６弱の被害とは？

耐震性が低い木造建物

◆壁などに大きなひび割れ・亀裂が入ることがある。

◆瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

倒壊する場合もある。

耐震性が高い木造建物

◆壁などに軽微なひび割れ・亀裂がみられることがある。

倒壊する可能性は低いが補修が必要になることがある。

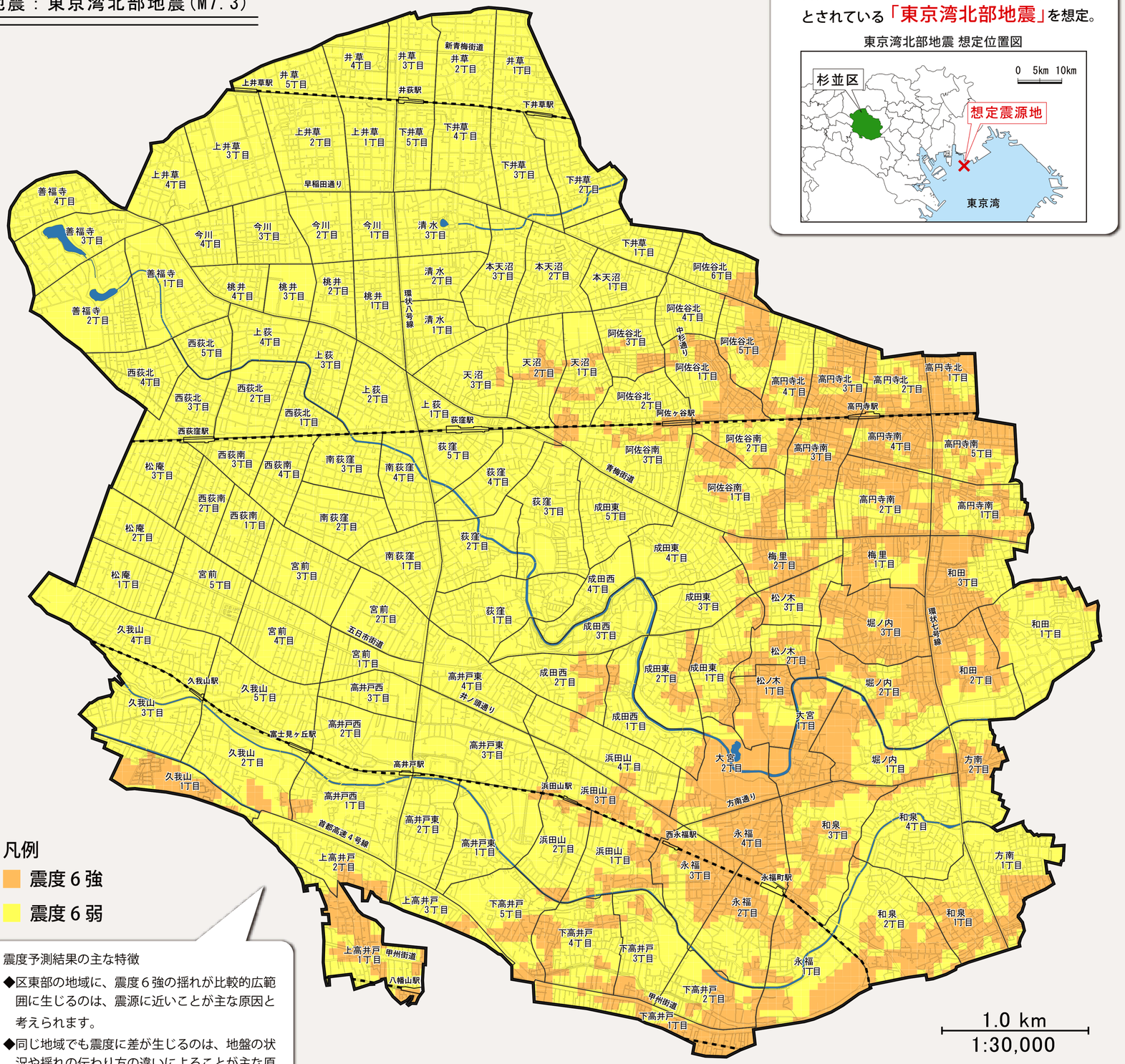
その他のゆれの影響

◆立っていることが困難になる。

◆固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。

◆壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。

引用：気象庁震度階級関連解説表より（平成 21 年 3 月 31 日改訂）



震度予測結果の主な特徴

◆区東部の地域に、震度６強の揺れが比較的広範囲に生じるのは、震源に近いことが主な原因と考えられます。

◆同じ地域でも震度に差が生じるのは、地盤の状況や揺れの伝わり方の違いによることが主な原因と考えられます。

想定地震について

首都直下地震の中でも杉並区内の被害が最大とされている「東京湾北部地震」を想定。

東京湾北部地震 想定位置図

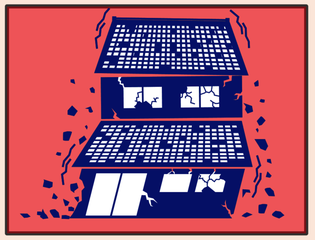
地震被害シミュレーションは、地震の規模や震源地、発生時刻や風速など、一定の条件を設定して行った想定の一つです。実際の首都直下地震の被害は、今回の想定結果と比べて小さい場合もあれば、大きい場合もあります。この結果だけにとらわれず、大規模な地震に備えていくことが大切です。

震度６強の被害とは？

耐震性が低い木造建物

◆壁などに大きなひび割れ・亀裂が入るものが多くなる。

◆傾くものや、倒れるものが多くなる。



倒壊するものが多くなる。

耐震性が高い木造建物

◆壁などにひび割れ・亀裂がみられることがある。

倒壊する可能性は低いが補修が必要になる可能性が高い。

その他のゆれの影響

◆はわないと動くことができない。飛ばされることもある。

◆固定していない家具のほとんどが移動し倒れるものが多くなる。

◆大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。

引用：気象庁震度階級関連解説表より（平成 21 年 3 月 31 日改訂）

2017 年 9 月 1 日公表版